

「高齢者介護における家族支援の在り方」

◆日 時：2022年3月19日（土）14時～17時15分

◆講師：（社）平和会地域包括ケア推進事業部 部長

たかむら けいこ
高落 敬子 先生

◆開催方法：ZOOM による開催

*申し込み受付者に、後日、ミーティングID、パスワードを送付します。単位が必要な方は、終了後簡単な受講報告の提出をお願いします。

◆受講料：会員 2,000 円、一般 3,000 円

◆単 位：2 単位申請中 ◆申込締切：3月8日(火)

“2025年には高齢化社会がより進み、65歳以上の3人に一人が認知症の発症の恐れがある”など非常に厳しい予測がされています。人口構成も完全に逆ピラミッドの形に変わってきました。そんな中、現役世代の方たちが「介護」という状況に直面され悩みを抱えられるケースも見られるようになりました。支援者としてどのようなことが求められるのでしょうか。

今回、ケアマネジメント、ソーシャルワーク、認知症ケアなど、依頼側のニーズに応え、本人本位の視点からぶれない、実践的で分かりやすい講義や、個人やグループでのスーパービジョンなど、支援者支援を実践され、また、経営大学院でMBAも取得、利用者支援だけではなく、経営や職員支援など引き出しの多さにも定評がある高落先生からともに学びたいと思います。

～講師からのメッセージ～

高齢者を介護することになった家族は、戸惑い、不安、さまざまな感情を抱えながら、高齢者の介護に向き合っていきます。高齢者の介護を受容する悲しみやその関係性が織りなす人間模様に、相談にあたる私たちはどう向き合っていけばいいのでしょうか。相談にのる私たち自身も高齢者介護を担う一家族として生きているがゆえに悩むのかもしれませんが、家族にとって支援になるあり方が見えていくような講義になればと思います。

～講師プロフィール～

現 社会医療法人平和会地域包括ケア推進事業部 事業部長

元奈良市認知症初期集中支援チームチーフ、主任介護支援専門員、認定社会福祉士、
精神保健福祉士、公認心理師、認知症介護指導者

著書：単著「面接援助技術～対人援助の基本姿勢と18の技法」中央法規出版

共著 第8章援助関係と面接技術～この人には話していいと感じてもらおう～

「ケアマネジメントのエッセンス」中央法規出版